



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 29 年 1 月 28 日(土)
まち灯り・冬 ろうそく作り 編

1 月 28 日(土)、子ども館で廃食用油を利用したろうそく作りを行いました。子ども達が作ったろうそくは、2 月 11 日に開催される「のしろまち灯り・冬」で、スギ灯りに入れて環境にやさしい灯りを灯します。午前の部、午後の部と 2 回に分けて行い、下は幼稚園から上は小学 5 年生まで、たくさんの子ども達に参加していただきました。

はじめに子ども館の木藤館長のお話を聞いた後、能登さん、上町すみれ会の平山さん、凧保存会の皆さんのご指導の下、作業が始まりました。

〇ろうそくづくり

市の南部共同調理場から頂いた廃食用油を鍋に入れ、80℃まで熱します。それに凝固剤を加えカップに注ぎ、芯を入れて固まったら完成です。子ども達は真剣な目で温度計を確認したり、おたまで慎重にカップへ油を注いだりしていました。子ども達の頑張りで、約 200 個のろうそくが出来上がりました。

〇懐中電灯へのセロファン貼り付け

色の付いたセロファンへ好きな絵を描いてもらい、各自で持ってきてもらった懐中電灯に貼り付けます。子ども達は好きなキャラクターや家族の似顔絵を描いたりして、楽しんでいました。電灯の灯りをつけると、描いた絵が綺麗に浮かび上がり、子ども達からは「すごい！」、「綺麗！」などの声が上がりました。

〇凧絵の色塗り

お手本を見ながら、筆を使って凧絵の色塗りをしました。子ども達はみな、凧保存会の人たちに教えてもらいながら真剣な表情で丁寧に色を塗っていました。

最後に、カーテンを閉め、スギ灯り・凧絵灯ろうに入れて火を灯すと歓声が上がりました。子ども達からは「楽しかった！」、「また作りたい！」などの声がありました。

文：石山 龍二



恒例となったまち灯り前のろうそく作り。この日も藤子館長はじめ、一緒にろうそくづくりをして下さる関係者の紹介から始まりました。



廃食用油から作るろうそく。はじめは恐る恐るでしたが、すぐになれてあっという間に目標数に到達しました。



凧絵の色塗りはおとなも子どもも真剣です。最後に木枠に糊を塗り、貼り付けて完成です。会場に設置される当日が楽しみです。